

和光市図書館サービス計画進捗状況評価 総括表【H30年度】

基本施策	施策	評価	改善点のコメント	基本施策の評価コメント
Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ	1 図書資料等の収集・保存	適切	一般書の割合を増やして、大人の利用者を増やしていく。	蔵書管理は適切に行われている。今後は一般書の割合を増やして利用を促進していただきたい。
	2 視聴覚資料の充実	適切	若い世代に向けて、ドラマや映画で上映されているものと原作をセットにしたリストを企画し、作成すると今年度の取組の積み重ねになる。また、自然科学のDVDは、その分類の本の書棚に置くなど配置を工夫すると付加価値が付いてくる。	
	3 郷土・行政資料の収集・保存	適切	郷土・行政資料のデジタル化は、生涯学習課の分野であり、図書館の主導することではないが、県の郷土・行政資料をまとめて受け入れる事は、とても良い取組だと思う。	
Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ	1 乳幼児、小学生へのサービスの充実	適切	民営の保育園に団体貸出を行ったり、絵本を読み聞かせたり、いろいろと取組をしていて素晴らしい。引き続き工夫して取組を考えていただきたい。	利用者に応じたサービスが適切に行われている。今後は成人へのサービスの充実にに向けた取組を実施していただきたい。
	2 中学生及び高校生へのサービスの充実	適切	図書館クラブや読み聞かせなど、中高生にとっては、イベントなど一緒に企画をする参加型イベントの方が楽しめるのかもしれない。いろいろと頑張っていると思う。	
	3 成人へのサービスの充実	適切	医療コーナー・パソコン優先席の設置、また、国立がん研究センターに「がん情報ギフト」の申し込みを行ったりと、いろいろと工夫がみられる。来年度は医療情報コーナーを重点的に取り組むのが良いだろう。	
	4 障害者・高齢者へのサービスの充実	適切	日本点字図書館による、視覚障害者や困難者に対して点字や音声データを提供するネットワークである「サピエ」を導入すると、サービスの視野が広がる。	
	5 外国人へのサービスの充実	適切	やさしい日本語で作成した利用案内をもくれんハウスにおいてほしい。また、外国人向けのニーズ調査も実施してほしい。外国人対応のための独自の会話カードの作成、そのリニューアルは、素晴らしい取組である。	
Ⅲ 居心地の良い図書館へ	1 公共施設等と連携したサービスの提供	適切	公民館の図書室の電気は、開室しているときは点けてほしい。	図書館機能の充実にについては適切に行われている。ただし電子図書館の推進および本館の老朽化への対応をしていただきたい。
	2 地域、ボランティアとの連携	適切	現在の「図書館ボランティア」、「図書館サポーター」を「図書館友の会」に移行していくことを検討してはどうか。名称的にも、緩い気持ちで図書館を応援したいという方には、友の会という名称のほうが入りやすいのでは。	
	3 コミュニティ情報等の収集・保存・発信	適切	特になし	
	4 図書館施設等の保全	概ね適切	本館の老朽化に対する解決策を模索してほしい。	
	5 電子図書館の推進	適切	Wi-Fi、電子書籍等の導入に関しては、実現に向けての努力・検討を期待したい。	
	6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上	適切	いろいろな取組をしてきた効果が入館者数の増に表れている。引き続き職員の資質向上に向けての取組をお願いしたい。	

基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ

施策1 図書資料等の収集・保存

<5年後の目指す姿>

本の収集を行い、収蔵量の範囲内で適切な蔵書管理を行うことで、市民が多くの情報に触れられる図書館となる。

2017年度評価：適切である	
一般書、児童書の購入割合を適切に検討してほしい。	

取組内容・状況	(1) 適切な蔵書管理	取組年度 (2018～)
	選書会議を定期的に開催し、リクエスト資料や買替資料等を含めた選書を行い、蔵書の充実に努めた。一般書、児童書の購入割合については予算に準じて購入している。	
	(2) 利用者ニーズを把握するためのアンケートの実施	取組年度 (2021～)
	(3) 除籍資料（リサイクル図書）の活用	取組年度 (2018～)
	除籍資料を活用し、『本・雑誌のリサイクル』事業を本館4回、分館2回実施した。毎回、本館では80名以上、分館では40名以上の来場があった。イベント終了後も、1か月程度は館内にリサイクル資料を設置するため、除籍した資料の大半が有効活用できている。	
	(4) 図書資料の保存場所等の検討・確保	取組年度 (2020～)

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
図書資料（一般書・児童書・雑誌・付属品）の蔵書数	目標値（点）	217,000	223,000	229,788	230,000	230,000
	実績値	192,434	209,192			
	達成率		96.4%			
図書資料の満足度（質）（来館者アンケート）	目標値（%）	-	-	-	-	60
	実績値	55.3%				
	達成率					

評価	図書館による評価（自己評価）	
	図書資料等の収集・保存については概ね適切に行っている。 本館、分館ともに、引き続き図書館資料収集方針に則り、適切な資料収集を行っていく必要がある。	
	図書館協議会による評価（外部評価）	評価コメント
	内容	
	(1) 適切である	
	(2) 概ね適切である	一般書の割合を増やして、大人の利用者を増やしていく。
	(3) 不十分である	

基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ

施策2 視聴覚資料の充実

<5年後の目指す姿>

視聴覚資料を充実・活用し、その満足度が高い図書館となる。

2017年度評価：適切である	
・図書館で視聴覚資料を収集する意義を考え直したほうが良い。 ・音楽や映画と図書資料を結びつけるなどどのような付加価値をつけていくかが重要である。	

取組内容・状況	(1) 適切な蔵書管理	取組年度(2018～)
	・評価が定まっておらず長く利用され得るであろう視聴覚資料を中心とし、蔵書構成、地域性、利用者のニーズを考慮して、資料を選定し収集している。	
	(2) 利用者のニーズを把握するためのアンケートの実施	取組年度(2018～)
	・視聴覚資料(CD・DVD)については、利用者からのリクエストを考慮すると共に、購入前に館内でアンケートを実施し、職員による選書会議において購入を決定している。 ・全職員にも業務で使用するCD・DVDのリクエストを募集した。	
	(3) 視聴覚資料を活用した事業の充実	取組年度(2018～)
	・平成30年度は、子供向けと大人向けの映画上映会を各一回ずつ本館で実施し、多数の利用者が参加した。今後も利用者のニーズに合わせた作品を上映する為にも、ジャンルや内容を吟味した上で上映権付きDVDを選定したい。 ・下新倉分館で映画の原作本とDVDをセットにして貸出をする企画を実施した。	

取組内容		現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
視聴覚資料の蔵書数 (点)	目標値(点)		9,480	9,610	9,740	9,870	10,000
	実績値	9,350	9,524				
	達成率		100.5%				
視聴覚資料を活用した事業の実施回数(回)	目標値(回)		3	3	3	3	3
	実績値	3	3				
	達成率		100.0%				
視聴覚資料を活用した事業の参加者満足度(%)	目標値(%)		75.0%	80.0%	85.0%	90.0%	90.0%
	実績値	-					
	達成率						
視聴覚資料の満足度 [来館者アンケート] (%)	目標値(%)		-	-	-	-	40.0%
	実績値	18.7%	-	-	-	-	
	達成率		-	-	-	-	
目標値(修正後)			6,250	6,350	6,450	6,550	
ナクソス・ミュージック ライブラリーの利用者口 グイン数(回)	目標値(回)		4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
	実績値	1,458	6,229				
	達成率		155.7%				

評価	図書館による評価(自己評価)	
	視聴覚資料の充実については、適切に行っている。分館においては視聴覚資料を活用した展示企画を実施することができた。 今後も図書館資料収集方針に則り適切な資料収集を行っていくとともに、事業の充実を図っていく必要がある。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	
	評価コメント	
内容	1)適切である	若い世代に向けて、ドラマや映画で上映されているものと原作をセットにしたリストを企画し、作成すると今年度の取組の積み重ねになる。また、自然科学のDVDは、その分類の本の書棚に置くなど配置を工夫すると付加価値が付いてくる。
	2)概ね適切である	
	3)不十分である	

基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ

施策3 郷土・行政資料の収集・保存

<5年後の目指す姿>

郷土資料を活用することで、みんなが和光市の歴史や郷土の偉人を知り、和光市を身近に感じられる図書館となる。

2017年度評価：適切である	
・ゆかりの文化人に関する1次資料を集めるのは難しい。 ・郷土資料が寄贈されたら報告すると、さらに寄贈があるのではないか。 ・市内のどこにどんな資料があるのかをまとめてほしい。	

取組内容・状況	(1) 市民と連携・協力した郷土資料等の収集・保存	取組年度(2018～)
	・和光市デジタルミュージアムと連携し情報の提供を行っている。市民が所有している郷土資料等については、「和光市図書館地域資料収集方針」に基づき、寄贈等による受け入れを行っている。 ・郷土資料「じゃがいものできるまで」(紙芝居)が寄贈された際、写真を撮影し館内掲示やホームページに掲載した。	
	(2) 本市ゆかりの文化人の資料の収集・保存	取組年度(2018～)
	清水かつら、大石真、新坂和男といったの本市ゆかりの文化人の資料については、引き続き図書館まつりの古本市の売上を活用して購入している。	
	(3) 子ども向け郷土資料の充実	取組年度(2018～)
取組内容・状況	子ども向け郷土資料の作成に着手した。 分館においては和光市について調べるためのパスファインダーを作成した。	
	(4) 郷土・行政資料を活用したイベントの開催	取組年度(2018～)
	・創作風の制作や、絵本作家として知られた、郷土作家である新坂和男氏にちなみ、「小学生風づくり講座」を開催し、市内で行われる風揚げ大会への参加も促した。また、平成30年12月から1月に館内で新坂和男氏が制作した風の展示と原画展を実施した。 ・和光市民文化センターで新坂和男氏の展示を行う際、所蔵している風と原画を貸出した。	
取組内容・状況	(5) 地域の思い出を共有する企画	取組年度(2019～)

数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
数値指標	目標値(修正後)			5,450	5,500	5,550	5,600
	目標値(点)		4,850	4,900	4,950	5,000	5,050
	実績値	4,804	5,406				
	達成率		111.5%				
	目標値(回)		2	2	2	2	2
	実績値	2	1				
数値指標	達成率		50.0%				

評価	図書館による評価(自己評価)	
	資料の収集については、行政資料や、市内団体からの発行物などを確認し、適切に収集できている。郷土資料に関わる講座については、本館では例年新坂和男氏にちなんだ風作り講座を開催しているので、分館で開催ができる催しがないか検討したい。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
	内容 (1) 適切である (2) 概ね適切である (3) 不十分である	郷土・行政資料のデジタル化は、生涯学習課の分野であり、図書館の主導することではないが、県の郷土・行政資料をまとめて受け入れる事は、とても良い取組だと思う。

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策1 乳幼児、小学生へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

多くの子どもたちが本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態となるようにサポートできる図書館となる。

2017年度評価：適切である

今後もボランティアや各施設等を巻き込んで事業を推進してほしい。

取組内容・状況	(1) 第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 【乳幼児向けの取組み】	取組年度 (2018～)
	あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた、絵本とお話の会などを実施するとともに、平成25年9月から行っているブックスタートを引き続き実施した。分館での開催日と土日・祝日の開催日を増やして、より利用者が参加しやすいように努めている。土日・祝日の開催日には父親の参加も見られるようになった。平成27年10月から実施している赤ちゃんタイムについては、平成29年度よりボランティア運営から図書館職員の運営に変わり、訪れた乳幼児親子にわらべうたや絵本の読み聞かせを実施している。引き続き、市内保育園でボランティアによる読み聞かせを行った。(ほんちよう、ひろさわ、にいくら、しもにいくら)。分館においては平成30年度から「あかちゃんタイム」をリニューアルし乳幼児親子の参加に努めた。また児童館と連携し児童館サークルの親子の利用促進を行った。	
取組内容・状況	(2) 第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 【小学生向けの取組み】	取組年度 (2018～)
	引き続き、市内小学校で読み聞かせ・ブックトークを行った。9月は白子小でボランティアによる大石真作品の読み聞かせ、11月は本町小でボランティアと職員による読み聞かせとブックトークを行った。その他、図書館見学の受入れや団体貸出、テーマ本貸出を行った。また、図書館アドバイザー研修を学校教育課と連携し継続して行っている。7月に夏休み宿題教室の開催、8月に夏休みこどもの集いにおいて、小学生を対象とした読み聞かせや影絵等のイベントを実施した。その他、年に2回英語絵本の読み聞かせ、年に2回小学校(元小学校教諭含む)教諭を招いてブックトークの実演、年に2回講師を招いて子どもの科学等を実施している。分館においては、引き続き「小学生向けひまわりおはなし会」、年に2回小学校教諭を招いてブックトークの実演「子どものための読書会」、年1回講師を招いて「子どもの科学」を実施した。開館記念月間イベントとして「図書館でB I N G O」「はじめてのおつかい」を昨年に続き行い、12月に「クリスマスおはなし会&工作」、2月にハート型おみくじに書かれたキーワードに関する本を借りてもらう「フォーチュンハート」、春休みの時期に「ぬいぐるみのおとまり会」など、図書館に親しみを持ってもらおうと同時に、季節感を感じられるような企画を実施した。市民図書館講座では「小学生のためのお片づけレッスン」を行い、関連書の貸出も行った。また下新倉小児童への調べ学習支援の体制を整えた。その他下新倉小児童への朝の読み聞かせは継続して行っている。市内小中学校へ団体貸出を行っている。	

数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
	目標値(点)		3,690	3,760	3,830	3,900	3,970
乳幼児・小学生対象事業等参加人数(人)	実績値	3,608	3,734				
	達成率		101.2%				
読書習慣がある児童の割合[小学3・5年生](%)	目標値(点)		-	-	-	80	-
	実績値	75.5	-	-	-	-	-
	達成率		-	-	-		-
1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の児童の割合[小学3・5年生](%)	目標値(%)		-	-	-	2	-
	実績値	4.9	-	-	-	-	-
	達成率		-	-	-		-

評価	図書館による評価(自己評価)	
	乳幼児・小学生対象事業等参加人数は目標値を達成している。 分館のあかちゃんタイムリニューアルは乳幼児親子の図書館利用につなげることができた。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	
	評価コメント	
内容	1) 適切である	民営の保育園に団体貸出を行ったり、絵本を読み聞かせたり、いろいろと取組をしていて素晴らしい。引き続き工夫して取組を考えていただきたい。
	2) 概ね適切である	
	3) 不十分である	

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策2 中学生及び高校生へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

多くの中高生が本に親しみ、本を読む習慣を身に着けている状態となるようにサポートできる図書館となる。

2017年度評価：適切である	
特になし	

取組内容・状況	(1) 第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 【ヤングアダルトコーナー等の充実・中高生向け講座の実施・学校における取組への支援】	取組年度(2018～)
	・夏休み子どもの集いにおいて、市内中学生によるビブリオバトルを開催した(10月)。また、審査員には市内高校に在学中の生徒に加わっていただき、読書推進の啓発を行った。 ・中学校と市内高校について、授業等で必要な資料をテーマ本として貸出を行い、授業のサポートを行った。 ・中高生向けの事業として、図書館クラブ(8月に私のおすすめ本のPOPづくり、12月に縁起熊手づくり)を催した。(分館) ・中高生向きの講座として、元東京国税局職員のお笑い芸人を講師に招き「元国税局芸人のたのしい税金」を3月に開催した。 ・中高生向けの図書館情報紙「YA通信」を年に4回発行した。青少年読書感想文全国コンクール課題図書、図書館オススメの本、新着漫画・CD(利用者アンケートを実施し購入)等の紹介、中高生向けの講座のお知らせや年間ベストリーディング等を掲載した。 ・毎年行われる埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本のフェア開催に伴い、2018年度版のポスター及びPOPシートをYA棚に展示した。イチオシ本に選ばれた本で所蔵のない本は購入した。 ・市内高校より依頼を受け、保育授業における絵本の読み聞かせ講習の講師として、図書館で活動しているボランティアの方々を派遣した。	

数値指標	取組内容		現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
読書習慣がある生徒の割合[中学2年生](%)	目標値(点)			—	—	—	80	—
	実績値	74.3		—	—	—	—	—
	達成率			—	—	—		—
読書習慣がある生徒の割合[高校2年生](%)	目標値(点)			—	—	—	60	—
	実績値	52.3		—	—	—	—	—
	達成率			—	—	—		—
1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合[中学2年生](%)	目標値(点)			—	—	—	2	—
	実績値	3.7		—	—	—	—	—
	達成率			—	—	—		—
1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合[中学2年生](%)	目標値(点)			—	—	—	26	—
	実績値	37.5		—	—	—	—	—
	達成率			—	—	—		—
中高生向けイベントの実施回数(回)	目標値(修正後)			3	4	4	4	4
	目標値(回)			3	3	3	3	3
	実績値	2		4				
	達成率			133%				

評価	図書館による評価(自己評価)	
	中高生へ向けた講座を積極的に企画・開催することができた。市民図書館講座については、30年度は3月に開催したが、春休みの進級シーズンとなるため、夏休みシーズンなどでの開催を検討したい。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	
	評価コメント	
内容	(1) 適切である	図書館クラブや読み聞かせなど、中高生にとっては、イベントなど一緒に企画をする参加型イベントの方が楽しめるのかもしれない。いろいろと頑張っていると思う。
	(2) 概ね適切である	
	(3) 不十分である	

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策3 成人へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

現役世代が利用したくなるような図書館となる。

2017年度評価：適切である	
・平日夜や土日しか利用できない世代へのサービスを向上させる。 ・利用の少ない世代のニーズの掘り起こし。 ・公民館受け取りサービス等の広報を充実させる。	

取組内容・状況	(1) 現役世代の利用率向上のための取組の実施	取組年度 (2018～)
	・読売新聞のオンラインデータベース『ヨミダス歴史館』を活用した講座を土曜日に開催した。 ・公民館利用宣伝ポスターを作成し、周知を図った。公民館受け取りサービスは3,458件で昨年度と比べて405件増加した。 ・毎月テーマを変えて展示を実施した。	
	(2) 館内閲覧用パソコンの充実	取組年度 (2018～)
	・館内閲覧用パソコンを本館・下新倉分館に設置し、希望者がいつでも利用できるようにしている。 ・「D1-Law.com」(法情報)「ヨミダス歴史館」(読売新聞)「ナクソスミュージックライブラリー」(音楽)「ジャパンレッジ」(百科事典)、官報情報検索サービス(官報)の5つのオンラインデータベースを導入し、館内利用者用パソコンや自宅(ナクソスミュージックライブラリーのみ)において利用できるように設定している。 平成31年2月から下新倉分館でも国会デジタル資料送信サービスを利用者が利用できるようになり、サービス提供の幅が広がった。	
状況	(3) 放送大学再視聴施設の充実	取組年度 (2018～)
	平成29年度の配架科目を19科目入れ替えて、平成30年度は1科目増加したが、利用があまり伸びなかった。利用者が求めるサービスを提供出来るように、ニーズを把握しながらサービスの充実を検討していく。	
	(4) カフェの設置の検討	取組年度 (2018～)
	カフェについて①利用者に対するモニタリングアンケートの実施、②他市の事例調査、③講座の作品講評会を兼ねた「お茶会」の実験開催を行い、その結果を踏まえて担当職員による検討を行った。検討の結果、カフェについては大手飲食業に類するサービスを目指すのではなく、図書館の事業の中で参加者同士が交流する場としての「図書館ならではのカフェ的な場」を目指すこととし、平成31年度から下新倉分館で実験を行っていく予定である。	

数値指標	取組内容		現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
館内閲覧用パソコン利用件数(件)	目標値(件)			1,230	1,250	1,260	1,270	1,280
	実績値	1,213	930					
	達成率		75.6%					
ビジネス支援関連講座の実施回数(回)	目標値(回)		1	2	2	2	2	
	実績値	1	1					
	達成率		100.0%					
テーマ展示の実施回数(回)	目標値(回)		24	24	24	24	24	
	実績値	24	24					
	達成率		100.0%					

評価	図書館による評価(自己評価)	
	成人へのサービスの充実については上記の取組のとおり適切に行ってきた。	
	利用の少ない世代のニーズの掘り起こしについては今後検討の必要がある。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	
内容	(1) 適切である	医療コーナー・パソコン優先席の設置、また、国立がん研究センターに「がん情報ギフト」の申し込みを行ったりと、いろいろと工夫がみられる。来年度は医療情報コーナーを重点的に取り組むのが良いだろう。
	(2) 概ね適切である	
	(3) 不十分である	

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策4 障害者・高齢者等へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

障害者や高齢者が利用しやすい図書館となる。また、図書館がアクティブシニアの活動の場の一つになる。

2017年度評価：適切である

- ・積極的に取り組んでいる。
- ・視覚障害者だけでなく聴覚障害者支援も必要である。

取組内容・状況	(1) 障害等に応じたサービスの実施	取組年度 (2018～)
	郵送貸出サービス利用件数：12件（4名）、対面朗読サービス利用件数：8件（1名） ・2018年6月頃、りんごの棚の「さわる絵本」や「点字絵本」の買い替えや購入を積極的に行った（58点）。 ・郵送貸出で利用頻度が高いジャンルのCD（ジャズ・バラード）を選定し、購入した。 ・カウンターに耳マークを置き、筆談に対応できるようにしている。	
	(2) 市役所関係各課との連携によるニーズの把握及び事業の実施	取組年度 (2018～)
	・社会援護課や地域包括ケア課に確認をし、ニーズ調査をどのように行っているか確認を行った。 ・地域包括ケア課にて、3年に1度実施しているニーズ調査に、図書館のニーズ調査も掲載できるよう依頼済（2019年度実施予定）	
	(3) 対面朗読のための音訳者支援	取組年度 (2018～)
状況	・音訳講師を招き、『音訳者養成講座』を6回実施。 ・音訳サークル「なごみ」が活動しやすいよう、図書館の会議室にて定例会（自主練習）の場を設けている。	
	(4) アクティブシニア向けサービスの充実	取組年度 (2018～)
・『市民図書館講座』にて「あなたの生活が変わる!?民法大改正！～どんなルール変更があったの～」と題し、浦和法務事務所の弁護士を招き、120年ぶりに抜本的な改正が行われた「民法」についての講義を団塊世代向けに行った。 ・『市民図書館講座』（分館）「江戸落語入門」を行った。 ・「大人のための朗読劇場（本館：6/3、11/4）」、「おとなの朗読会（分館：11/3）」を開催した。		

数値指標	取組内容		現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
	目標値（修正後）							
点字・大活字・録音図書 の蔵書冊数（冊）	目標値（冊）			2,083	2,133	2,183	2,233	2,250
	実績値	2,033		2,357				
	達成率			113.2%				
	達成率							
障害者・高齢者サービス 登録者数（人）	目標値（人）			15	16	17	18	20
	実績値	14		14				
	達成率			93.3%				
	達成率							
60歳以上の登録件数 （件）（和光市）	目標値（修正後）			9,150	9,300	9,450	9,600	
	目標値（件）			8,069	8,219	8,369	8,519	8,669
	実績値	7,919		9,012				
	達成率			111.7%				
音訳者養成講座実施回数 （回）	目標値（回）			6	6	6	6	6
	実績値	4		6				
	達成率			100.0%				
	達成率							

評価	図書館による評価（自己評価）	
	障害者・高齢者へのサービスの充実については、上記の取組状況のとおり適切に行っている。 次年度は、ニーズ調査により、図書館の障害者サービスを見直す予定である。	
	図書館協議会による評価（外部評価）	評価コメント
	①適切である ②概ね適切である ③不十分である	日本点字図書館による、視覚障害者や困難者に対して点字や音声データを提供するネットワークである「サピエ」を導入すると、サービスの視野が広がる。

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策5 外国人へのサービスの充実

< 5年後の目指す姿 >

外国人が利用しやすい図書館となる。

2017年度評価：適切である	
多様な言語の資料を収集することも意義がある。	

取組内容・状況	(1) 市役所関係各課等との連携	取組年度 (2018～)
	・利用増加を目指し、外国人親子が集う北第2子育て世代包括支援センター（親子ひろばもくれんハウス）に外国語絵本リストを設置した。	
	(2) 外国人への情報提供と外国語資料の収集・保存	取組年度 (2018～)
	・英語資料については、近年一般書、ヤングアダルト、児童の読み物の購入に力を入れ、ベストセラーや基本書を揃えてきたので、2018年度は子ども達のための絵本や平易な読み物を主に購入した。これらの資料は、2020年の教育改革（英語が3年生から必修化、5年生から教科化する）に向けた取り組みでもあり、外国人・日本人双方の子どもたちの英語学習に役立つものである。大人向けの資料としては、ピュリッツァー賞やブッカー賞の受賞作品や現代日本小説の英語版など、人気の小説を中心に購入を行った。 ・2017年度は行われなかった英語絵本の読み聞かせ事業が、2018年より復活し、2019年度も継続して行っていく予定である。 ・館内での外国人対応のために独自の会話カードを2016年に作成したが、2018年度は内容の見直しを行った。今後より実用的なものにしていく予定。	

数値指標	取組内容		現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
	目標値 (修正後)							
外国語資料の蔵書数 (冊)	目標値 (冊)			1,300	1,310	1,320	1,330	1,340
	実績値	1,129		1,374				
	達成率			105.7%				
	目標値 (修正後)			1,750	1,800	1,850	1,900	1,950
外国語資料の貸出冊数 (冊)	目標値 (冊)			1,300	1,310	1,320	1,330	1,340
	実績値	1,296		1,648				
	達成率			126.8%				
	目標値 (修正後)				3	3	3	3
外国人向け事業の実施回数 (回)	目標値 (回)			1	2	2	2	2
	実績値	1		2				
	達成率			200.0%				
	目標値 (修正後)							

評価	図書館による評価（自己評価）	
	外国人へのサービスの充実については、概ね適切に行っている。外国人親子が集う場所に外国語絵本リストを設置することができた。今後も図書館に来館したことのない外国人へ周知していく必要がある。	
	図書館協議会による評価（外部評価）	
	評価コメント	
	内容	①適切である ②概ね適切である ③不十分である
	やさしい日本語で作成した利用案内をもくれんハウスにおいてほしい。また、外国人向けのニーズ調査も実施してほしい。外国人対応のための独自の会話カードの作成、そのリニューアルは、素晴らしい取組である。	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策1 公共施設等と連携したサービスの提供

<5年後の目指す姿>

様々な機関と連携し、それぞれの強みを活かした事業を実施する図書館となる。

2017年度評価：適切である	
特になし	

取組内容・状況	(1) 公民館図書室の利用方法の検討・実施	取組年度(2018～)
	公民館図書室は図書の受け取り場所としての意義もあることから、利用方法については引き続き検討を行う。	
	(2) 市内の機関(国等)や企業、医療機関等との連携	取組年度(2018～)
	・本館による図書館まつりにおいて、東京メトロ株式会社、大人の秘密基地アルコイリス、社会福祉協議会による出店協力を受ける等の連携を行っている。 ・下新倉分館では4月に下新倉児童館・下新倉学童クラブと連携して「ふれあいまつり」を行っている他、8月に地域の自治会等と連携して「サマーフェスタ」を開催した。	
	(3) 県内公共図書館、近隣図書館との連携等	取組年度(2018～)
	・相互貸借による連携を行い、2,854冊の資料提供を受け、和光市から2,809冊の貸出を行った。 ・協力車調査により、県内図書館の諸課題について相互に状況を確認している。(合計17件/うち和光市依頼2件) ・朝霞地区四市図書館連絡会を開催して情報を共有している。	
	(4) 市内各公共施設との連携によるサービスの充実	取組年度(2018～)
	・市内3公民館と連携し、市民まつりにおいて公民館図書室の利用に関するPRを行った。 ・新倉北地域センターにブックポストを設置した。	
	(5) 市役所関係各課等との連携による事業等の充実	取組年度(2018～)
	行政サービスを提供する上で参考となる資料の貸出やレファレンス、業務遂行上の課題が解決できるよう「庁内業務支援サービス」を実施。2018年度は、保健福祉部、建設部、市民環境部、企画部、教育委員会から13件の依頼があった。	

数値指標	取組内容		現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
公民館図書室における貸出点数(点)	目標値(点)			7,950	7,960	7,970	7,980	8,000
	実績値	7,917		5,601				
	達成率			70.5%				
	目標値(修正後)				14	14	15	15
庁内業務支援サービスの実施件数(件)	目標値(件)			10	11	12	13	14
	実績値	7		13				
	達成率			130.0%				
	目標値(件)			3	3	3	3	3
市役所以外の機関と連携して行った事業の数(件)	実績値	3		3				
	達成率			100.0%				

評価	図書館による評価(自己評価)	
	公共施設等と連携したサービスの提供については概ね適切に行っている。公民館図書室における貸出点数については、分館ができた影響で減少しているが、予約本の受け取り件数については増加しているため今後も周知を図っていく。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	
	評価コメント	
内容	(1) 適切である	
	(2) 概ね適切である	公民館の図書室の電気は、開室しているときは点けてほしい。
	(3) 不十分である	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策2 地域、ボランティアとの連携

<5年後の目指す姿>

地域やボランティアと連携し、市民・利用者にとって魅力的な図書館となる。

2017年度評価：適切である
特になし

取組内容・状況	(1) 図書館ボランティアの育成・支援、連携	取組年度 (2018～)
	新規のボランティア団体加入者やサポーター登録者に加え、「読み聞かせボランティア養成講座」を開催したことにより、例年と比べ飛躍的に登録ボランティア数が伸びた。登録者を中心に「土曜えほんタイム」のボランティアとして活動を行う事が決まっている。また、養成講座修了後に「読み聞かせボランティア交流会」を開催し、初めて市内で活動しているボランティアとの連携を図る機会を持つことが出来た。	
	(2) 地域等との連携による図書館事業の充実	取組年度 (2018～)
	「読み聞かせボランティア養成講座」及び「読み聞かせボランティア交流会」で図書館ボランティアを募り、図書館事業の充実に繋げていく予定である。また、今後も定期的に交流会を開催し、市内ボランティアとの交流の機会を設ける予定となっている。 今年度も、図書館ボランティア等と連携し、夏休み子どもの集い及び図書館まつりを開催した。まつりにおいては、社協及び地元事業者の協力により「図書館カフェ」を実施した。また、図書館事業において、市内在住で活躍されている方を講師に招き講演会や講座を行ってもらった。今後も地域の人材の発掘を行っていきたい。	
	(3) ひとハコ図書館の検討・実施	取組年度 (2018～)
	11月テーマ展示（図書館まつりの前後）に「図書館サポーターのおすすめ本」の展示を実施した。毎月行っているテーマ展示コーナーに、事前に図書館サポーター会員におすすめ本を募り、本とコメントを展示する機会を設けた。今後ひとハコ図書館に繋げて行ければと思う。	

数値指標	取組内容		現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
	目標値 (修正後)				140	145	150	155
図書館ボランティア登録人数 (人)	目標値 (人)			125	130	135	140	145
	実績値	124		136				
	達成率			108.8%				
図書館サポーターの図書館事業への参加人数 (人)	目標値 (人)			140	145	150	155	160
	実績値	137		91				
	達成率			65.0%				
ひとハコ図書館の設置数 (箱)	目標値 (箱)			-	1	1	1	1
	実績値	-		-				
	達成率			-				

評価	図書館による評価（自己評価）	
	地域、ボランティアとの連携については、適切に行ってきている。「図書館ボランティアの登録人数」については目標値を達成することができた。「図書館サポーターの図書館事業への参加人数」については図書館サポーター企画講演会の実施がなかったため減少した。今後は図書館サポーターの次のステップを支援する必要がある。	
	図書館協議会による評価（外部評価）	評価コメント
	内容	(1)適切である
		(2)概ね適切である
(3)不十分である		
	現在の「図書館ボランティア」、「図書館サポーター」を「図書館友の会」に移行していくことを検討してはどうか。名称的にも、緩い気持ちで図書館を応援したいという方には、友の会という名称のほうが入りやすいのでは。	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策3 コミュニティ情報等の収集・整理・保存・発信

<5年後の目指す姿>

市内のコミュニティ情報を知りたいときに、知ることができる図書館となる。

2017年度評価：適切である	
コミュニティ情報の収集・整理・保存の方法について検討が必要。	

取 組 内 容 ・ 状 況	(1) コミュニティ情報サービスの充実	取組年度 (2018～)
	市内団体が開催するイベント及び、市内施設を会場とするイベントにおいて、チラシの配架やポスターの掲示を行うほか、郷土資料として当該資料のファイル保存を行っている。	
	(2) 市役所発行のチラシ等の配布	取組年度 (2018～)
	各課より依頼のあったパブリックコメントの募集や、資料の掲示については、館内掲示板に周知している。	

数 値 指 標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
	当該年度発行の市内情報	目標値 (点)	100	100	100	100	100
	紙等の保管数 (点)	実績値	101				
		達成率	101.0%				

評 価	図書館による評価 (自己評価)	
	本館・分館が相互に協力し、効率的にチラシ等を収集することができた。今後はポスター、チラシの配置の仕方を工夫し、より見やすくしていく予定となっている。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	
	評価コメント	
内 容	(1) 適切である	特になし
	(2) 概ね適切である	
	(3) 不十分である	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策4 図書館施設等の保全

<5年後の目指す姿>

適切に施設を保全し、みんなが満足できる環境を提供できる図書館となる。

2017年度評価：概ね適切である
本館の老朽化に対する解決策を模索してほしい。

	(1) 適切な施設の保全	取組年度(2018～)
取組内容・状況	開館から35年が経過したこともあり、館内の至る所に老朽化の影響がみられる。	
	そのため、現有施設設備を維持していくことが、重要である。	
	今年度は、排水管維持を目的とした、トイレ小便器への自動洗浄機の設置を行ったほか、放送大学ブースの視聴機器の更新、空調機の一部更新、視聴覚コーナーの椅子の新品交換等を行い、館内環境の向上に努めた。	

数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
値指標	館内の環境の満足度(公共施設含む) [来館者アンケート] (%)	目標値 (%)	—	—	—	75%	—
		実績値	69.8%	—	—	—	—
		達成率	—	—	—		—

評価	図書館による評価(自己評価)	
	図書館施設等の保全については適切に行ってきた。本館の老朽化に対する解決策については、市担当課との話し合いを持ったが、具体的な方針は決まらなかった。施設の老朽化による影響が随所に見られるため、現状の状態を維持していけるよう努める。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
	内容	
	(1)適切である	本館の老朽化に対する解決策を模索してほしい。
	(2)概ね適切である	
	(3)不十分である	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策5 電子図書館の推進

<5年後の目指す姿>

Wi-Fi等インターネット環境を整えることで、誰もが様々な情報へアクセスしやすい図書館となる。

2017年度評価：適切である	
図書館システム更新に向けて郷土行政資料のデジタル化を検討してほしい。	

取組内容・状況	(1) 図書館管理システムの充実	取組年度 (2018～)
	令和2年2月に新システムに更新予定のため、現在、仕様等の検討中である。	
	(2) 電子書籍の導入の検討	取組年度 (2018～)
	10月の図書館総合展にて、フォーラム『電子図書館を活用した市民サービスについて考える』を職員が受講し、神戸市立中央図書館や浜松市立中央図書館の導入状況や、導入している電子図書館システムについて、職員間で情報共有を行った。	
	(3) 館内インターネット環境の整備	取組年度 (2018～)
	分館においても「国会図書館デジタル資料閲覧サービス」を開始した。 wi-fi環境の整備については行うことができなかった。	
	(4) 図書館ホームページの充実	取組年度 (2018～)
	定例イベントと特別なイベントを分離し、定例イベントへトップページからすぐにアクセスできるようにした。	

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
インターネット予約件数			43,500	43,600	43,700	43,800
(件)	27,885	43,198				
		154.3%				
図書館ホームページ閲覧件数			60,000	61,000	62,000	63,000
	-	59,608				
		124.2%				

評価	図書館による評価 (自己評価)	
	電子図書館の推進については、費用がかからずに行えることから始めているため、概ね適切である。Wi-Fi等の規模が大きいことに関しては、他部署や業者等に働きかけを行っているが、費用がかかるため導入に至っていない。なお、今後引き続き働きかけを行っていきたい。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	
	評価コメント	
内容	(1) 適切である	
	(2) 概ね適切である	Wi-Fi、電子書籍等の導入に関しては、実現に向けての努力・検討を期待した
	(3) 不十分である	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上

<5年後の目指す姿>

職員の質や意識を向上させ、気持ちの良い対応ができる図書館となる。また、図書館運営については和光市図書館協議会により外部評価を受けながら、より良く改善していく図書館となる。

2017年度評価：適切である
引き続き職員、学校図書館司書も含めた研修を続けてほしい。

取組内容・状況	(1) 効率的効果的運営の検討・実施	取組年度 (2018～)
	平成30年3月に『第2次和光市図書館サービス計画』及び『第3次和光市子ども読書活動推進計画』を策定した。また朝霞地区四市図書館連絡会において情報交換を行った。	
	(2) 職員の資質の向上	取組年度 (2018～)
	職員と市内小中学校の図書館アドバイザーや図書館で活動するボランティアを対象とする職員講座『ブックトーク』と、市民と図書館サポーター、図書館協議会委員、職員を対象とする市民図書館講座『和光市図書館とビジュアルコミュニケーション』の合計2回の講座を開催した。また図書館職員対象の外部研修にも積極的に参加した。	
	(3) テーマ展示の定期的な開催	取組年度 (2018～)
	毎月のテーマ展示のほかに、加え芥川賞・直木賞・本屋大賞といった賞の発表後に関連本の展示や追悼特集などの展示を行い、利用の促進に努めた。	
	(4) 図書館協議会による審議	取組年度 (2018～)
数値指標	図書館協議会を2回開催し、平成29年度の取り組み状況の評価や図書館の運営に関する内容を審議した。	
	(5) 図書館の運営状況等の情報提供	取組年度 (2018～)
	図書館要覧を作成した。図書館協議会の会議録についても引き続き公表し情報提供を行っている。図書館ホームページを活用し和光の教育など情報提供を行っている。	
	(6) 第3次図書館サービス計画の検討・策定	取組年度 (2021～)

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
目標値(修正後)			406,000	406,000	406,000	406,000
貸出点数(点)						
目標値(点)		380,000	381,000	382,000	383,000	384,000
実績値	371,986	405,288				
達成率		106.7%				
目標値(修正後)			10,000	10,000	10,000	10,000
レファレンス件数(件)						
目標値(件)		5,700	5,725	5,750	5,775	5,800
実績値	5,670	10,216				
達成率		179.2%				
目標値(修正後)			297,500	298,000	298,000	298,000
入館者数(人)						
目標値(人)		285,000	286,000	287,000	288,000	289,000
実績値	272,546	297,040				
達成率		104.2%				
目標値(人)		104	106	108	110	110
図書館職員の研修参加延べ人数(人)						
実績値	102	148				
達成率		142.3%				

評価	図書館による評価(自己評価)	
	図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上については、適切に行ってきた。職員の資質の向上については、学校図書館アドバイザーと合同の研修を行うなど、充実した内容で実施することができた。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	
	評価コメント	
内容	①適切である	いろいろな取組をしてきた効果が入館者数の増に表れている。引き続き職員の資質向上に向けての取組をお願いしたい。
	②概ね適切である	
	③不十分である	